

「デジタル社会における新たなトラスト形成 ～ 総合知による取り組みへ～」

公開シンポジウム登壇者プロフィール (1/2)



クロサカ タツヤ 株式会社 企（くわだて） 代表取締役

1975 年生まれ。慶應義塾大学・大学院（政策・メディア研究科）修了後、三菱総合研究所にて情報通信分野のコンサルティングや国内外の政策調査等に従事。その後 2007 年に独立し、現在は株式会社企（くわだて）代表として、通信・メディア産業の経営戦略立案や資本政策のアドバイザー業務を行う。2016 年より慶應大学大学院政策・メディア研究科特任准教授。



山口 真一 国際大学 GLOCOM 主幹研究員・准教授

1986 年生まれ。博士（経済学・慶應義塾大学）。2020 年より現職。専門は計量経済学、ネットメディア論、情報経済論等。主な著作に『ソーシャルメディア解体全書』（勁草書房）、『正義を振りかざす「極端な人」の正体』（光文社）等。KDDI Foundation Award 貢献賞等を受賞。東京大学客員連携研究員、シエンプレ株式会社顧問、株式会社エコノミクスデザインシニアエコノミスト等も務める。



中島 震 国立情報学研究所 名誉教授

1981 年東京大学大学院修士課程（物理学）修了。博士（学術）。NEC、法政大学を経て、2004 年国立情報学研究所教授。2021 年同名誉教授。ソフトウェア工学の研究に従事。現在、放送大学客員教授、産業技術総合研究所招聘研究員など。著書に『SPIN モデル検査』（近代科学社、2008 年）『ソフトウェア工学』（共編著、放送大学教育振興会、2019 年）『AI リスク・マネジメント』（丸善出版、2022 年）などがある。



大屋 雄裕 慶應義塾大学法学部 教授

1974 年生まれ。慶應義塾大学法学部教授、専攻は法哲学。東京大学法学部を卒業、同大学助手・名古屋大学大学院法学研究科助教授・教授等を経て 2015 年 10 月より現職。著書に『自由とは何か：監視社会と「個人」の消滅』（ちくま新書、2007 年）、『自由か、さもなくば幸福か？：21 世紀の〈あり得べき社会〉を問う』（筑摩選書、2014 年）、『法哲学』（共著、有斐閣、2014 年）等がある。



村山 優子 津田塾大学 数学・計算機科学研究所 特任研究員

津田塾大学学芸学部数学科卒、三菱銀行および横河ヒューレット・パカード社に勤務。1984 年ロンドン大学内 University College London 大学院理学部計算機科学科修士課程修了。1992 年同大学大学院博士課程修了（Ph.D.）。広島市立大学等を経て、1998 年より岩手県立大学ソフトウェア情報学部助教授、2002 年教授、2016 年定年退職。2016 年津田塾大学教授、2019 年定年退職。2019 年より現職。

「デジタル社会における新たなトラスト形成 ～ 総合知による取り組みへ～」 公開シンポジウム登壇者プロフィール (2/2)



山本 ベバリー アン 大阪大学 人間科学研究科 教授

英国ロンドン生まれ。英国国立シェフィールド大学大学院社会科学研究科 Ph.D. 修了。2006 年より大阪大学人間科学研究科、2013 年教授。2019 年より University of Oxford, Centre for Health, Law and Emerging Technologies (HeLEX), Academic Affiliate (兼任)。NPO 法人 HAEJ (遺伝性血管性浮腫患者会) 理事長。JST RISTEX の AI とヘルスケアに関する AIDE プロジェクトの代表。



小山 虎 山口大学 時間学研究所 准教授

大阪大学大学院人間科学研究科博士課程修了。博士 (人間科学)。大阪大学人間科学研究科・基礎工学研究科を経て、2017 年より山口大学時間学研究所、2022 年准教授。専門は分析哲学、形而上学、応用哲学、ロボット哲学。2018 年に『信頼を考える：リヴァイアサンから人工知能まで』(勁草書房) 編著。



中川 裕志 理化学研究所 革新知能統合研究センター チームリーダー

1975 年東京大学工学部卒、1980 年東京大学大学院工学系研究科修了 (工学博士)。横浜国立大学工学部を経て、1999 年より東京大学情報基盤センター教授、2018 年より理化学研究所、現在に至る。東京大学名誉教授。研究テーマは、AI 倫理、プライバシー保護の技術と法制度。著書に『裏側から見る AI - 脅威・歴史・倫理』(近代科学社、2019 年)『東京大学工学教程：機械学習』(丸善、2016 年) 等。



木村 康則 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー

1981 年富士通 (株) 入社。第五世代コンピュータ、京スーパーコンピュータなどコンピュータシステムの研究開発を経て、米国駐在。シリコンバレーにて研究マネジメントと研究成果の事業化に従事。2017 年より現職。産業技術総合研究所招聘研究員兼任。その間、スタンフォード大学客員研究員、東京大学客員教授、九州大学客員教授等を歴任。オーム技術賞、情報処理学会業績賞を受賞。博士 (工学)。



福島 俊一 科学技術振興機構 研究開発戦略センター フェロー

1982 年東京大学理学部物理学科卒業、NEC 入社。以来、中央研究所にて自然言語処理・サーチエンジン等の研究開発・事業化に従事。工学博士。2011～2013 年東京大学大学院情報理工学系研究科客員教授 (兼任)。2016 年より現職、人工知能分野を中心に研究動向調査・戦略提言を担当。情報処理学会論文賞、情報処理学会坂井記念特別賞、オーム技術賞等を受賞。情報処理学会フェロー。